

# 我が担当区の改善計画の取り組みについて

新城営林署 各務清美

私達の職場である段戸国有林は、愛知県の林業の中心である三河林業地帯にあって、地域の住民も林業経営に強い関心を持ち、国有林事業についても経営の良否を注視している。

私達は国有林野事業の予算の半は外部からの借入金によって賄なわれている厳しい現状も十分理解している。

これに応える「良い山づくり」に全員が一丸となって取り組み、地域から批判を招くことのないよう努めている。

## 1. 昭和55年度の担当区目標

- (1) 慣習作業を見直し、安全で作業能率を高める小さな改善にも取り組もう。
- (2) 共通費の削減のため努力しよう。
- (3) 安全活動の輪を広げ、活力ある山づくりに努めよう。

この三点を三都橋担当区の目標とし、主任以下全員で確認し「何んでも気易く言える明るい職場で、よい山づくりに努めよう」を合言葉に常に全員で問題となることを話し合い、考え、改善すべきことは全員が納得して取り組んできた。

他の担当区の事業、作業方法等にも関心を持ち、機会をとらえて情報の交換を行い、安全作業で功程の上る方法や、良い山づくりに結びつくアイデアは積極的に取り入れ、良い意味での担当区間の競争意識も芽ばえてきた。

また、安全点検の交流や造林研修などの中でも、作業や山を見る目が変わって、質問も多くなり自分が担当する山をより良くしようとする意識が高まった。

当署経営関係事業の5年間無災害記録の目標を掲げ、現在4年間を経過したが、各班が創意工夫して、安全活動に取り組み、災害は絶対自分の班からは出さないという担当区の競争意識も高まっている。

こうした意識的な取り組みが、より良い山づくりに生かされる改善努力であると考えている。

造林事業の功程等の推移は表-1のとおりで、共通労務比率、私傷病比率の署平均も減少しているが、私達の担当区では、55年度間接費の減少を目標に掲げて取り組み、12月現在の成果は僅かの減少ではあったが、私傷病休務者は皆無であった。今後もこの目標達成のため努力してゆく考えである。

我が担当区の造林事業の主作業の工期をみると、53年度は署平均工期を下廻る作業種がほとんどで、54年度、55年度と年々各作業の工期が上昇し、署平均工期を上廻るようになってきた。

これは、各作業の着手前に主任をはじめ全員が一丸となって「良い山づくり」のための改善意識をもって仕事を進めた結果と考えている。

又、作業を実行するなかで問題点を掘り起し、作業能率の向上や安全作業に結びつく事案を全員で考え、改良、考案したものに簡易移動テント、改良輪尺、砥ぎ台、簡易樹高測定器がある。

#### (1) 簡易移動テント

従来は、休憩所のテント等の設置にかなり労力を要し、間接費の掛り増しが問題となっていたが、考案したテントはビニールハウスの骨組みに土台を取り付けたもので、設置、撤去は簡単にでき労力は殆んどかからず、その節減労力は山に投入される労力が多くなり間接費の節減ができた。

又、テントの移動もミニバスを利用して運搬できる。

#### (2) 改良輪尺

収獲調査事業では測定されるものは当然精度の高いものが要求されるが、間伐調査は林内も暗く、年々老令化が進み輪尺目盛も精読し難く、作業能率も低下しており従来の輪尺にレンズと豆電球を装置し改良した。

精読するときに豆電球をつけレンズで数値目盛りが拡大され判読が容易となった。

#### (3) 砥ぎ台

各担当区現場で刃物の砥ぎ台が考案されており実用化されているが、特に枝打用の鎌の砥ぎ台を担当区で考案して使用している。枝打鎌を砥ぐときは不安全な状態が時々おこる。これを使用すると安全に砥ぎ上げることができる。

#### (4) 簡易樹高測定器

樹高測定には種々の測定器具が使用されているが、取り扱いが複雑で能率が悪く、現場ではあまり使用されていない。

考案した樹高測定器は試験地の樹高測定で使用したが取り扱いが簡単で精度、能率性も高い。作業上の不便を解消するため、改良、考案したもので、私達が考えつくものは初歩的なものであるが、改良、考案した立場で使用することによって、その成果も良く安全作業に結びつき、作業能率の向上に役立っている。

「改善計画のとりくみ」と大きな課題で小さな取り組みを発表したが、小さな改善、工夫でも全員が意識して生み出すことが大切で、54年度の安全に対する取り組みや、枝打の実行結果と作業仕組等の発表も含め、主任をはじめ全員一丸となって「よい山づくり」のため創意工夫する努力をしている。

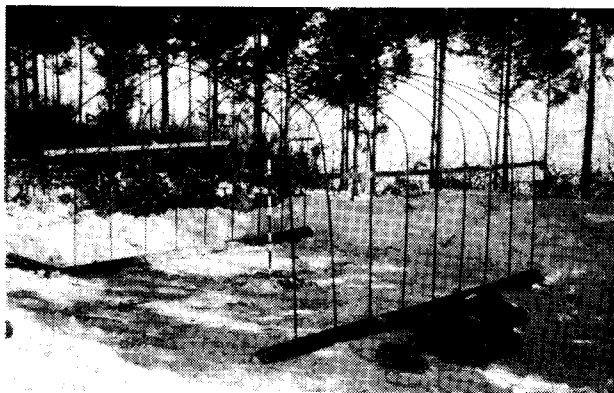
国有林で働く者として、恥じない技術を身につけることはもとより、慣習作業を見直し、民間

林業の技術、他署で採用している作業方法等林業知識の向上に努め、全員で考え、全員で実践し、小さな改善工夫を積み重ねて、良い山づくりに努力してゆく覚悟である。

表-1. 造林事業の工期等の推移（署平局と担当区比）

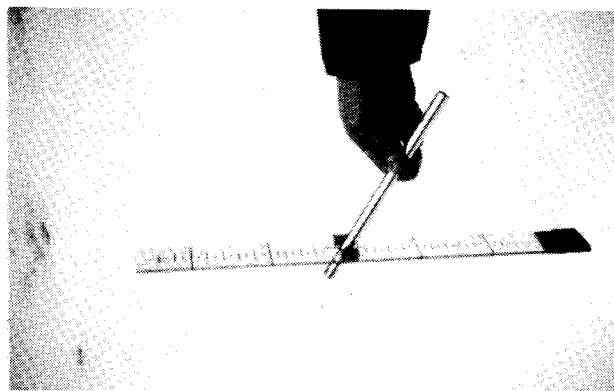
区 分	署、担当区別	53 年 度	54 年 度	55 年 度
普通労務比率	署 三都橋	12.74% (100) (79)	(80) (78)	(79) (77)
私傷病比率	署 三都橋	7.79% (100) (46)	(102) (0)	(25) (0)
地 拵	署 三都橋	9.7 人 (100) (103)	(103) (100)	(96) (109)
植 付	署 三都橋	21.1 人 (100) (113)	(92) (89)	(73) (71)
下 刈	署 三都橋	4.4 人 (100) (102)	(98) (95)	(80) (73)
つ る 切	署 三都橋	2.6 人 (100) (81)	(119) (85)	(92) (85)
除 伐	署 三都橋	10.0 人 (100) (109)	(91) (85)	(95) (84)
枝 打	署 三都橋	12.0 人 (100) (105)	(92) (103)	(115) (88)
臨時雇用比率	署 三都橋	21.1% (100) (137)	(136) (162)	(100) (83)

( ) 指数 55年12月現在

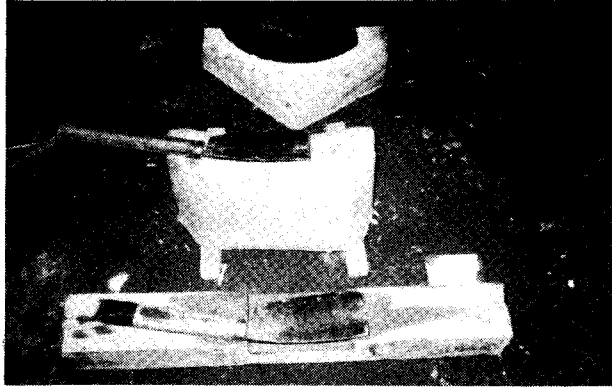


簡易移動テントの  
骨組完了

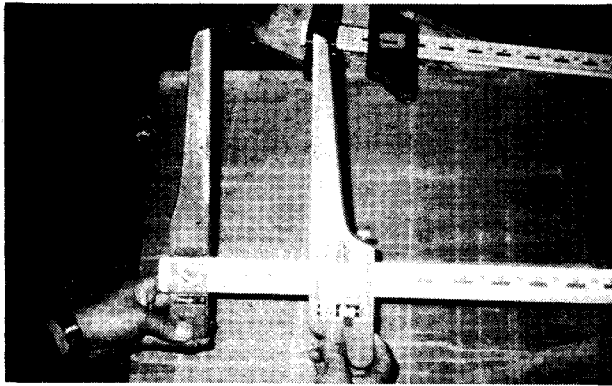
簡易移動テントの  
完了



樹高測定器



砥 ぎ 台



改 良 輪 尺